

この物語は、  
栄光、そして挫折を味わい、  
今、再び這い上がろうとする一人の男の人間ドラマである。

江成公隆の

# トーナメント、 復活への道。



text and photo by Kimitaka Enari and Satoshi Tanaka  
業界初、Web運動企画！ (URL) <http://hesar.yokohamatsurumi.net>

## 〈Vol.3〉回顧②。

～なぜ彼は釣りから離れたのか——。江成公隆本人が、自身の過去を語る～

「回顧」の枠を越え、

江成の口から語られる壮大な計画。

大ボラなのか？ 本気なのか…。

前編とはうって変わって (!?)、

本誌・里との白熱したトークを展開…！

「里ちゃん、その気にさせた責任は取ってくれ」…byえなり

里「さて、江成さんが元気になった所まで話をしました。で、これからどうします？ どんな企画になっても構わないんですが。信用してますんで(笑)」  
江「ブレスチャーだね。とりあえず現役トーナメントに教わりながら、最新テクニクの勉強と、基本のおさらいもしたいね」  
里「基本のおさらいは別にいいんじゃないですか？ 最近2回並んで釣ってますけど、それほど問題ないように感じましたが…」  
江「とんでもないよ。あまり釣りに行けなくなってきた頃、あの早川インストラクターに「おまえが何をやりたいのか分からない」と言わせた男だぜ」  
里「それでどうなったんすか？」  
江「俺も分かりません」て答えた。そしたら「だいのおー」(早川さんの声マネで)だって…」  
里「それ、面白過ぎます！」  
江「人のせいにするよね、萩ちゃん(注：へらウキー志作者・萩野孝之氏)がいけないね。彼が俺の釣りを全てぶっ壊したと思うね」  
里「そんなにイジメられましたか？」  
江「イジメていうか、まあ実際並んでコテンパンにやられたのは事実だけど、彼の理論にぶっ飛んだね。全然違うんだもん」  
里「どんな風に違いました？」  
江「なんて言うかなあ。1+1は勿論彼も2であって、3になるっていう訳ではないんだけど、2×1も2だって

「先月号より続く」

教えてもらっていつか、視点が違  
ったってどうかね…」  
里「ひとつの事柄に対して考える方向  
を複数持っていたということですね？」  
江「そうだね。自分でも多面的に見て  
いたつもりだった部分で、かなり新し  
い発見があったね。正直かなりシヨッ  
クだったよ。今の彼を見れば勝てるわ  
きゃなかったんだけど(笑)。当時は彼  
はまだ無名でね、知る人ぞ知って感  
じだったのよ。前回、釣りから離れた  
のは釣り以外のことが原因だったって  
いう話をさせてもらったけど、トーナ  
メントとしての自分に引導を渡した  
のは、間違いなくこの男だね」

### お勉強法の確立。

里「では、毎回ゲストを呼んで一緒に  
釣りをしながら教わるって感じでいき  
ます？」  
江「別に釣りに慣れてもいいよ」  
里「へっ？」

江「いや、釣りはするから心配しない  
で。見学もしたいしね。でも、メイ  
ンはお話して。勉強はペンとノートがあ  
れば出来るから…」

里「実釣記ではない、と？」  
江「そう。それじゃあ、『エンジョイフ  
ィッシングレポート』(注・江成が以前  
本誌で執筆していた釣行記)と同じに  
なっちゃおうよ。俺が考えているのは、  
そういうものじゃないんだ」

里「フムフム。でも経験やデータも無  
視出来ないですよ。相手は生き物で  
すから…」

江「全くその通りだよ。よく北城錦さ  
んに怒られたっけ…。確かに賛否両論  
あると思うんだ。身体で覚える部分  
つてもあるんだし。でもさ、実際に  
釣り場に行つて出来る事って限りがあ  
ると思うんだよね。こういう練習をし  
たいと思つて釣り場に行つても、状況  
がマッチしないことが多い訳でさ。  
経験だけで上達しようとする、一般  
の人は圧倒的に時間が足りないわけ。  
もちろん今の自分にも時間的余裕は全  
くないし。そこで上手な人の実釣記で  
追体験するつてのは悪くはないんだけ  
ど、その前にもう少し根本的な公式と  
いうか方程式みたいなものを知つてい  
ればもっと近道なんではないかと…」

里「なるほど！ 確かに、僕が睨んで  
いるのも実はそこなんですよ！」  
江「ホントかよ？(笑)」

里「いえいえ、マジですよ。だって、  
連載が始まるからって、江成さんの釣  
行回数が増えるわけじゃないでしょ？」  
江「もちろん。へら鮎社で食わしてく  
れば別だけど(笑)。せいぜい月1、  
2回くらいだよね」

里「そうそう、そこが大事なんです。  
このご時世、毎日毎週釣りに行ける人  
なんてほとんどいないわけじゃないで  
すか。読者のみなさんの大半つて、今  
の江成さんと同じ境遇にある人だと思  
うんですよ。偉そうに聞こえるかもし  
れないですけど、そういう人達に何か  
勇氣と希望を与えられるような記事に  
したいんですよ。社会人としてのさ  
まざましながらみの中で、それでも釣  
りが好きで、少ない釣行回数の中、も  
う一度這い上がるうとしてが苦し  
む江成さんの姿に、自分を重ね合わせ

て読み進めてもらえたらと思うんです。  
それが、この企画を立ち上げた一番の  
理由なんですから」  
江「なるほど」

里「で、江成さんは、経験を積んでい  
くことももちろん大切だけど、今の立  
場では釣行回数を増やすことは現実的  
に無理である」と

江「そう。カミさんに殺されるよ(笑)」  
里「そこで、もっと普遍的に通用する  
教科書みたいなものを、この連載で作  
つていきたいということですね？」

江「そうなんだ。残念ながら今までに  
自分にとってこれだ！つていう教科書  
に出会えてないんだよね。俺の理想は  
ね、

1底からカツツケまで基本は同じ  
2セツトも共エサも基本は同じ  
3メディアで語られないハイテクニツ  
クの明文文化

4エサづくりに関しては使つた品種の  
商品名ではなく特徴や機能を書く  
どう？ こういうことがきちつと一冊  
にまとまった本つてないでしょ。近い  
本はあるんだけど」

里「気持ちよく分かりましたんです  
が、江成さん…別冊作るつて話して  
るんじゃないので？」(笑)。それに、言  
いにくいすけど、今の江成さんにそこ  
まで期待しちゃうつてもいいんすか？」

江「いやだからさ、俺の能書きじゃな  
いんだつて。俺のじゃ誰も聞いてくれ  
ないよ(笑)。現役バリバリのトーナメ  
ンターを呼んでさ、『キモ』つてところ  
を聞き出すつて訳！ で、里ちゃんと  
俺でまとめるの。それで自分も勉強に  
なるつて寸法よオ！」

里「なんか大変そうだなあ… 毎月で

すか…？ また睡眠時間が…」  
江「毎月なんてムリムリ！ ゲストの  
先生と俺のスケジュールそうそう合わ  
ないと思うよ」

里「それならまあ… ちょっとは気楽  
かなあ…」  
江「ちょっとオ、さっきの勢いはどう  
した？ やる気あんのー？ 将来その  
記事がまとまったらそれこそ別冊出来  
ちゃうよ。そしたら里ちゃん、ポーナ  
スがつぼりだぞ？」

里「やりましょう！ で、どういうス  
ケジュールでいきますかね？ やつぱ  
り最初は底釣りですか？」

江「…金が目が眩んだか？ まあ、行  
き当たりばつたりでやっていって、い  
つか出揃つたら並べ替えて本になるで  
しょつてことなんだけとさあ…」

里「やる気あるんですか？ ポーナ  
スがかつてるんですよ！ えーと、誰か  
ら呼びましようか？ 来月は誰を？  
第1号ゲストつてことになりますか？」  
江「来月は釣りに行く時間ないかも…」  
里「…ええっ？…ポーナス…」

### 競技へのこだわり。

里「来月からのこの企画の進むべき方  
向性は、なんとなく見えてきました。  
ところで、江成さんが競技の釣りにこ  
だわり続ける理由つて何ですか？ 江  
成さんをおこの場へ引つ張り出して来て  
おいて何ですけど、ある意味、競技と  
いう部分さえ捨て切れれば楽になると  
思いませんか？ 釣行回数も減つたわけ  
ですし、一回の釣りを楽しもうと思え



里との対談は、江成の競技生活の原点であった「多摩川へら鮎センター」で行われた。「あの頃」の思い出を拾い上げるように、江成は多摩へらの釣りを楽しんでいた…

ば…。プライドですか？」  
江「プライドじゃないよ。生意気にも以前は持ってたけど。だいたい前に捨てた、というよりなくなった(笑)。ただね、やっぱりフリーでヤマとかが行ってもさ、隣の人が釣れてると悔しいじゃない？俺、どうしても自分は自分なんて思えないのよ。どんなにきれいごと言っても。多分へらやってる人みんなそうじゃないかなあ。なかなか悟りなんて開けないって」  
里「そうっすよねえ。僕もやっぱり力ツカキちゃいますネ。それがまた面白いんですよ」  
江「でしょ？最初は競技会なんて存在すら知らなかったんで、ゴールデンに入会する時はちょっと抵抗あったんだけどさ。紹介してくれたTさんに、今喋ったみたいに口説かれて。遊びで周りに他人がいなくてもたたくさんへらと語り合えた方が楽しいだろ？とも言われたなあ。隣に人がいなくなったら別にいいんじゃないの？とも思ってたけど、やっぱりたたくさん釣りたいし(笑)。で、勉強するにはクラブに入った方がいい

よって事で入会したんだけどね。見事に熱中しちゃった。てか、そんなノリで入っちゃいけないトコだった！大人の大人達が本気で夢中なんだもん。たかが魚釣りなのに…。いや、ケチつけるわけじゃなくて、当時本当に感動したんだ。ああ、こういう大人もいるんだなあって。子供から見るとさ、大人って情性で生きてると思ってたから…。でね、競技会って魚と勝負するのから人と勝負するのになってなっちゃうと凄く難しい問題だけど、とりあえずどっちにしても練習しとこうって。向上心はどっちにしても必要だったことだね。いずれにしろ、人よりたたくさん釣りたいって思うことって、すごく純粋なものだと思うよ。それを否定する人こそ、純粋じゃないんじゃない？」

理詰めへのこだわり。

里「なるほど…。でも当時の江成さんって、半端な釣行回数じゃなかったっすよね？年間200とか300とかかって聞いてますよ。意地悪な事言うって、当時の成績ってまさに経験の賜物って気もするんですよ。だからペンとノートの話は正直言わせてもらおうと…」  
江「だから俺は経験なんて要らないとは言ってないってば！確かに恵まれた環境にいたのは認めるって。考え方や感じ方は人それぞれだから仕方ないって言っちゃったら江成のコーナー終わっちゃうから押し通させてもらうけどさ、当時自分らがやってた練習法には自信持ってるんだ。聞きたい？」

里「もちろんです」  
江「全部Tさんに教わった事だけど、釣りに行ったらとてあえす自分の釣りをやってみる。あたりまえだよ。で、自分なりのペースってのが出来るでしょ。イレバクじゃなくなってきたの。そしたら、仕掛けのどっかヶ所を崩すんだ」  
里「え？」  
江「それから元のペースに戻す事を考えて行くんだけど、さっきいじった部分以外の仕掛けをいじってもいいし、エサを換えてみてもいい。竿やタナは換えちゃダメよ！練習になんない！で、そうすることで仕掛けやエサのバランスが見えてくるってわけ」  
里「なるほど」  
江「いじったらいきなり元のペースより良くなったって事もあるよ。それは当然元のペースじゃ勝負にならないって事だし、全然合ってたって事だよ。普通に釣り通しちゃったら気付かない地合だったりしてね。繰り返し行くと感覚が掴めてくると思うんだけど、高活性の時ってどこいじってもある程度は元に戻せるんだけど、状態によっては取り返しのつかない部分でもあるわけ。つまりこれが食い渋りやフィッシングプレッシャーって事だよ。わざとそういう状態で釣り続けてみて面白いわ。ハコなんかまともな地合じゃない事が多いからいい練習になる(笑)」  
里「自分のペースが元になるってところがいいっすねえ」  
江「そうなんだよ。この練習法のいい所は、レベルに応じた練習が出来るって事なんだ。特に初心者の方は、消去

法で消して行く程の引き出しがもともとないんだから、自分からいじっていかってのは画期的だと思うんだけど…。何も雑誌で仕入れた突飛なテクニクを試さなかったって、釣りの幅は広げられる筈なんだよ。むしろそれじゃあ日頃の釣りととの繋がりが見えづらいうら遠回りになる事だってあるんだ」  
里「うーん…面白いですねコレは…！ええ、江成さんの釣りに対する考え方はよく分かりましたよ。少ない釣行回数でも向上心のある読者にとって、非常に頼もしい記事になりました！でも責任重大ですよ、アニキ…」  
江「えっ？オレ！？里ちゃんこそ…でしょ？」  
里「はいはい。分かりましたよ！(笑)ところで、次回の取材ってどうなるんでしょう？」  
江「…。どうしよっか…」  
里「ちよっとお〜！」

というわけで、いよいよ来月から「江成公隆、トーナメント復活への道。」が本格的に始動することとなる。いったいどんな展開になっていくのか…。だいたいの方向性は見えてきたものの、今後の「復活への道」は、江成のみぞ知る、といったところか…。

とりあえず、次号は超ビッグゲストをお迎えすることが決まっている。江成公隆とその「先生」が激しく火花を散らす(?!?)様子を、来月はお届けできることだろう。

乞う御期待！



113 ついに、あの釣りの全貌が解き明かされる!  
奇才・棚網 久が爆裂男クマガイの釣りを鋭い視点で斬る!  
**熊谷 充の爆裂深宙両ダンゴ。**  
FIELD:埼玉県羽生市 羽生吉沼



142 第2回 マルキューチャーチン王座決定戦 羽生吉沼 **トビックス**

COLOR (カラー)

四季を釣る ムードある夏の釣り場  
4 久喜菖蒲公園・昭和池 (埼玉県久喜市)  
6 利根川・坂東大橋下流 (群馬県伊勢崎市)



20 石井旭舟の謎  
《謎解き7》夏の野釣り、旭舟流・深宙両ダンゴの謎に迫る。西湖・石切

24 小池忠教&伊藤洋一のHIGH VOLTAGEで釣りまくれ!!  
《第7回》野田幸手園、平日に100kgを目指せ!!

31 戸張 誠がズバリ回答 例会作戦①場所②エサ③仕掛け  
《第7回》精進湖の岩場 (山梨県上九一色村)

36 野釣り場のスケッチ 北川穂積  
《第117回》揖保川 (兵庫県)

38 40cm上べらで勝負!ショーブ!! 山内研作VS生井澤 聡  
《第9ラウンド》高滝湖 (千葉県市原市)

44,112 列島縦断・旅するカメラ  
《千葉県24》丸山町・袖ヶ浦～市原 小櫃堰下ほか

119 杉山達也のSPLASH BEAT  
(Vol.14) 対 [椎の木湖] 対策 [メーターの高ダンゴ] でスプラッシュ!



124 熱血釣り女 吉川ひとみがいけ!「へらってヤバイわっ!!」  
《第3回》野田幸手園の大型に挑戦～!  
GUEST: 石井旭舟さん 田辺哲男さん

132 石井忠相の公私混同企画 へら鮒釣りに誘っちゃおう!!  
《第9回》筑波湖 (茨城県明野町)



136 釣りクラブ見参!  
(第38回) アドバンスクラブ 吉羽園 (埼玉県幸手市)

139 笑顔でフィッシング  
フィッシングレディ佐藤由美子さん 加須吉沼 (埼玉県加須市)

140 上州屋グループへら鮒用品充実店紹介  
(第22回) フィッシングジャンボ上州屋渋谷店 (東京都渋谷区)

ワクワク管理釣り場情報	90	プレゼント発表	175
小売店情報	94	釣果予想クイズ	176
新製品ニュース	109	データサロン	185
野田幸手園新聞	110	広告索引	191
読者のページ・VOICE	166	編集後記	192
情報ステーション	173		

171 芝学園・釣り研究部 夏の精進湖合宿 **トビックス**

MONOCHROME (モノクロ)

エリアレポート  
50 北山湖 (佐賀県) 河口正伸  
52 北陸の真夏の釣り場 山本一郎  
54 風越池 (愛知県) 後藤 誠  
55 津風呂湖 (奈良県) 前田誠志

56 STAGE 21TH 野べらを求めて 森田昌宏  
《第20回》長門川 (千葉県栄町/本埜村)

65 続・野釣り場漫遊記 江口正弘  
《その81》生まれ変わった川口沼 (千葉県八日市場市/旭市)

68 四季対応の攻略法! 富永 勲のダンゴ一直線!  
《Vol.9》羽生吉沼 (埼玉県羽生市)

72 北城 錦さんがガイドする 隠れた釣り場 再発見  
《第9回》新八間川 (千葉県佐原市)

76 レディース版 釣り場ガイド キャサリン  
《No.34》みのわだ湖 (埼玉県毛呂山町)

78 荘野諒爾が身を犠牲にして教育係を務める 総合50位からの脱出  
《No.8》丹生湖 (群馬県富岡市)



82 水辺のプラネタリウム 吉本亜土  
《今月の星空》へら鮒肘

86 八百八釣 へら日誌 天野正由  
《その34》妙義湖にハマリそう!? 妙義湖～大塩湖 (群馬県)&西湖



97 週末エンジョイ釣りガイド 小平正直  
《Vol.13》丹生湖 (群馬県富岡市)

103 ガッツ小林が攻めまくる 若さとファイトの激釣記 **新企画**  
《第2回》天野沼・子供釣り場 (群馬県伊勢崎市)

145 竹、合成竿を使用した 未開の釣り場 釣行記  
《その5》洞狭間上池 (茨城県水戸市)&浄水場の池、洞狭間下池、名称不明の池、千波湖、立間湖

152 人間カーナビ実践編! 稲毛利夫の快釣! 野釣りワールド  
《Vol.9》弁天沼 (埼玉県菖蒲町)

156 きったりはったり関西風味 西田美明  
《第79回》「W杯も終わって、夏の小皿池へ」の巻

158 へら鮒釣りを愛する人たち 松戸 健  
《人物往来39》生井澤 聡さん



161 セッキーのちょっと一息 関根正義  
《その19》へら鮒釣りとお酒

162 江成公隆のトーナメント、復活への道。  
《Vol.3》回顧② ~なぜ彼は釣りから離れたのか~。江成公隆が自身の過去を語る~

平成14年9月1日発行 (毎月1回1日発行) 第37巻第9号 昭和41年5月4日第三種郵便物認可  
MONTHLY FISHING MAGAZINE SINCE 1966



# HERA BUNA

Sep.2002  
No.441

9

素材と道具  
手造り釣り具の

竿掛け、玉の柄、  
万力、フラシほか

へら鮎釣り具・考察シリーズ⑨  
アマチュアのための

特集

ついに、あの釣りの全貌が解き明かされる! 2002季節特集第3弾  
奇才・棚網 久が爆裂男クマガイの釣りを鋭い視点で斬る!  
熊谷 充の爆裂深宙両ダンゴ。/羽生吉沼

石井旭舟の謎/西湖・溶岩地帯  
隠れた釣り場 再発見・北城 錦/新八間川  
杉山達也のSPLASH BEAT /椎の木湖  
例会作戦①場所②エサ③仕掛け・戸張 誠/精進湖

小池忠教&伊藤洋一のHIGH VOLTAGEで釣りまくれ!! /野田幸手園  
40cm上べらで勝負! ショーブ!! 山内研作VS生井澤 聡/高滝湖  
吉川ひとみがいく! 「へらってヤバイわっ!!」/野田幸手園  
STAGE 21TH 野べらを求めて・森田昌宏/長門川

# 発売以来、 (1987年～) 不動の人気No.1。

昭和41年5月4日第3種郵便物認可  
第37巻第9号(毎月1回1日発行)  
平成14年9月1日発行

HERABUWA 9 2002  
へら鮎釣り具・アマチュアのための  
手造り釣り具の素材と道具  
株へら鮎社

## 年間を通して大活躍 特に夏場は威力を発揮!

ベースエサとして、そしてブレンド用としてもご愛用いただいている「バラケマツハ」。実はこれからの夏場こそ、その能力を最大に生かせる季節。優れた基本性能に加え、暑い夏でもエサを長持ちさせる「極めて少ない経時変化」、さらにウワズリを抑え、明確なウキの動きを出してくれる「マツハならではのタテバラケ」という2つの特長を持つことが、その理由です。発売以来好評をいただき、マルキュー・へら鮎釣り用ベースエサとしては常に売上げ、人気No.1。今までも、そしてこれからも、「バラケマツハ」はへら鮎師にとって、はずすことのできないエサであり続けることでしょう。



バラケマツハ ¥1,100



バラケマツハミニ ¥600

使いやすい  
1 Dayパック

定価 一〇〇〇円 本体九五二円

つれるエサづくり一筋  
**丸マルキュー**

本社 福川工場 埼玉県福川市赤堀2-4 〒363-8509  
TEL: (048) 728-0909(代) FAX: (048) 728-3909  
大阪支店 大阪府豊川市楠根南町12-14 〒572-0811  
TEL: (072) 824-0909(代) FAX: (072) 825-0909

四国営業所 香川県坂出市西大浜北3-4-33 〒762-0058  
TEL: (0877) 44-0909(代) FAX: (0877) 44-3909  
九州営業所 佐賀県鳥栖市矩方町341-8 841-0028  
TEL: (0942) 82-0909(代) FAX: (0942) 83-0909

<http://www.marukyu.com/>  
釣り場でエサに困ったらモード・ホームページ  
[http://www.marukyu.com/!](http://www.marukyu.com/)

